

まりもだより

第2号

医療法人社団まりも会ヒロシマ平松病院の広報誌



【特集】骨粗鬆症の
診断と治療

DXA連携
骨折リエゾンサービス

ヒロシマ平松病院 院長より

高齢化が進む地域社会で、骨粗鬆症のリスクが増加していることは深刻な課題となっています。骨粗鬆症は骨がもろくなる病気であり、その結果、転倒などの軽微な外傷でも骨折の危険が高まります。特に初期段階は、症状が出にくく自覚するのが難しいのですが、骨密度検査を行うことで、早期に状態を把握し、適切な治療やケアを開始することが可能です。

地域の医療・介護関係者の皆様には、日々の業務の中でこの病気の早期発見と治療の推進が不可欠です。早期の介入は、骨折や寝たきりのリスクを大幅に減少させることができ、高齢者の生活の質を高めるためには欠かせません。

私たちの病院では、骨粗鬆症の診断と治療のサポートを積極的に行っており、日本骨粗鬆症学会のガイドラインでも推奨されているDXA法という骨密度検査を採用し

ています。そして、今年の春からはこの検査機器を地域の医療機関や介護施設との連携を通じて広く利用していただける体制を構築しました。

皆様と連携し、地域の健康維持のための取り組みを強化していきたいと考えております。お問い合わせや協力のご要望がございましたら、いつでもお気軽にご連絡ください。



ヒロシマ平松病院
院長 高澤 篤之

骨粗鬆症の

診断を支える ~DXA (デキサ) 連携~



DXA検査の様子

腰と大腿骨の
密度を調べる
精度の高い検査



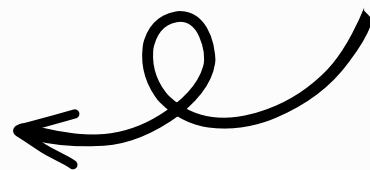
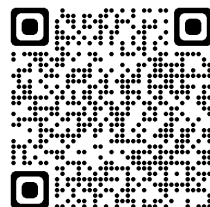
令和5年6月19日より、当院では地域の医療機関と連携し骨粗鬆症の診断・治療に役立てていただくため「DXA連携システム」を導入しました。DXAとはDual-energy X-ray Absorptiometry (二重エネルギーX線吸収測定法)の略で、微量な異なる2種類のX線を照射し、筋肉や脂肪等の組織の影響を少なくして骨組織だけを測定する方法であり、当院の骨密度測定はこのDXA法で検査しております。

健診やクリニックなどで手首やかかどに超音波を照射して検査するQUS (定量的超音波測定法)は、簡便でX線を照射しないため妊婦でも検査できるメリットがあり骨折リスクをスクリーニングするためには有効ですが、DXAは骨折リスクの高い腰椎と股関節の2部位の骨密度について精度の高いデータを得ることができます。「骨粗鬆症の予防と治療のガイドライン」では骨粗鬆症の診断・治療効果の判定にはDXA法が推奨されています。DXAでは骨密度の評価で重要なYAM値を得ることができ、これは若い人の骨密度の平均値を100%とした時に自分の骨密度が何%であるかを示す値です。骨密度が若い人の80%未満になると骨粗鬆症に要注意、70%未満になると骨粗鬆症と診断されます。

当院のDXA連携システムには3パターンあります。

- ①診察 (検査説明) + DXA
- ②診察 (検査説明・結果説明) + DXA
- ③診察 (検査説明・結果説明) + DXA + 推奨薬紹介

この3パターンの選択は、かかりつけの先生にご相談いただくことになります。詳細は当院のHPにDXA連携システム・骨密度検査の案内がありますのでご確認ください。ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。



DXA連携ページはこちら

治療を支える ～骨折リエゾンサービス～

骨折リエゾンサービス（Fracture Liaison Service; FLS）のリエゾンとはフランス語で連携を意味します。FLSの目的は、二次骨折の予防です。二次骨折とは一度骨折した後、2回目以降に起こる骨折のことを言います。つまり、患者さまが何度も骨折を繰り返さないように整形外科医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ療法士、放射線技師などの専門家が連携して支援するものです。現在、当院では50歳以上の大腿骨近位部骨折の患者さまをFLSの対象としています。

FLSは、患者さまが入院してから1年間の支援を計画しています（下図）。FLSの対象となる患者さまには骨密度検査や血液検査などで骨の状態を確認するとともに、これまでの病歴や骨折歴も確認し、骨折につながりやすい転倒を予防する対策を考えます。

加えて、これまで服用されているお薬も確認し、患者さま個々に適したお薬での治療を始めます。入院中は、退院後も効果的に骨粗鬆症治療を続けていただくために生活指導、服薬指導、栄養指導、運動指導、口腔管理を行います。退院後は、外来で骨粗鬆症治療経過のチェックを行っています。

また、当院でFLSを牽引する職員は、（一社）日本骨粗鬆症学会の骨粗鬆症マネージャー資格取得のため骨粗鬆症マネージャーレクチャーコースへ参加し研鑽に努めています。院内で活用している骨粗鬆症の治療に関するパンフレットは、この職員達が作り上げました。骨粗鬆症の予防にも活用できる内容となっていますので、沢山の方にご覧いただきたいと思います。ご希望がございましたらお気軽に看護師にお声がけください。

骨折リエゾンサービス

SCHEDULE

	 入院中	 退院直後	 120日後	 1年後
検査	血液検査・尿検査 レントゲン検査 骨密度検査（DXA） 筋肉量検査（Inbody）	レントゲン検査 （必要時のみ）	血液検査 レントゲン検査 骨密度検査（DXA）	血液検査 レントゲン検査 骨密度検査（DXA） 筋肉量検査（Inbody）
薬	治療薬の選定・開始 治療薬の説明・指導	内服状況の確認	内服状況の確認	内服状況の確認
食事	栄養管理計画作成 栄養指導			
運動	リハビリ開始 身体機能検査 運動指導	転倒リスク評価 身体機能検査	転倒リスク評価 身体機能検査	転倒リスク評価 身体機能検査
歯科	口腔内検査 レントゲン検査 口腔管理(ケア・治療など)	口腔管理継続	口腔管理継続	口腔管理継続

医師担当表 (2023年9月現在)



診療科目		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
整形外科	午前	亀井 豪器					
		平松 廣夫	真鍋 英喜	平松 恵一	平松 廣夫	高澤 篤之	兒玉 祥
		平松 恵一	柏木 健児	高澤 篤之	大饗 和憲		交代制
	午後	室積 正人	梶川 和徳	室積 正人		真鍋 英喜	
		中佐 智幸	平松 廣夫	梶川 和徳	高澤 篤之	平松 恵一	青木 勇樹 (第1) 目瀬 藤四郎 (第3) 光嶋 勲 (第2,4,5)
		梶川 和徳	室積 正人	柏木 健児	室積 正人	柏木 健児	
高澤 篤之			真鍋 英喜	青木 勇樹			
形成外科 (リンパ浮腫)	午前	青木 勇樹					
	午後			目瀬 藤四郎	永松 将吾		
リウマチ科	午前					吉田 雄介	
内科	午前	大石 秀夫	桑原 正雄	大石 秀夫		大石 秀夫	植田 裕介 (第1,3,5) 高張 康介 (第2,4)
	午後	北川 知郎	大石 秀夫	高畑 修治	桑原 正雄	板倉 希帆	
外科	午前	田崎 拓朗		田崎 拓朗		宮田 義浩	
	午後		田崎 拓朗	田崎 拓朗			
消化器外科	午前		寺岡 義布史		寺岡 義布史		寺岡 義布史
	午後	寺岡 義布史	寺岡 義布史		寺岡 義布史		
脳神経外科	午前						有田/広大(飯田)
	午後			香川 幸太 (第1,3,5)			
婦人科	午前					広大 (交代制)	
歯科口腔外科	午前	室積 秀正	室積 秀正	室積 秀正	室積 秀正	室積 秀正	室積 秀正
		菅田 辰海	菅田 辰海	桐山 健	菅田 辰海	菅田 辰海	不定期
	午後	室積 秀正	室積 秀正	室積 秀正	室積 秀正		
		菅田 辰海	菅田 辰海		菅田 辰海	菅田 辰海	
				桐山 健	桐山 健	桐山 健	



医療法人社団まりも会

ヒロシマ平松病院

<https://www.marimokai.or.jp/>

TEL. 082-256-3650

FAX. 082-256-3670

〒732-0816 広島市南区比治山本町11-27

平松病院

検索

